

グローバルREITウィークリー

2017年7月第4週号(2017年7月24日発行)

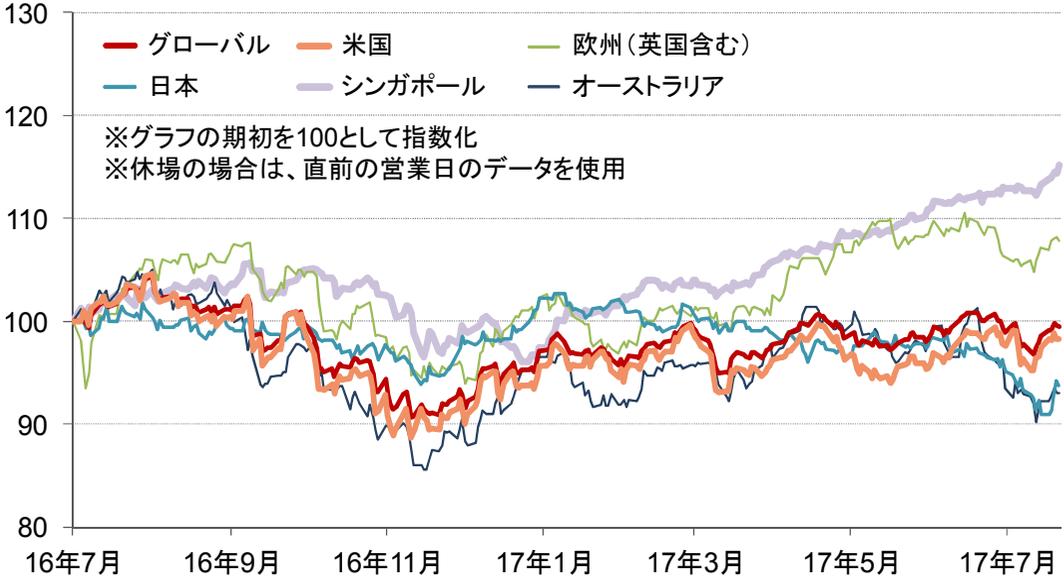
先週(2017年7月17日~7月21日)のグローバルREIT市場の動き

先週のグローバルREIT市場は、前週末比+0.9%となりました。
 米国では、インフレ率の弱さなどを受けて利上げ観測が後退したほか、オバマケア代替法案の進展の遅れやトランプ政権への不信感などを受けて長期金利が低下基調となるなか、REITは一進一退の展開が続き、前週末比では小幅上昇となりました。
 欧州では、20日のECB(欧州中央銀行)理事会を前に様子見姿勢が広がったことや、理事会後の総裁会見で、緩和縮小についての慎重姿勢が改めて示されたことなどから、REITは小動きが続き、週末の株安の流れを受けて小幅安で週を終えました。
 一方、英国では、同国を代表する分散型REITが3億ポンド(約433億円)の自社株買いを発表したことなどが好感され、REITの上昇をけん引しました。

日本では、個人投資家などによる売りから続落していたものの、足元の値ごろ感や利回り面での妙味などから買い戻しの動きが入ったほか、日銀が金融政策決定会合で物価目標の達成時期を先送りしたことも支援材料となり、REITは上昇しました。

各国・地域のREIT価格の推移

期間:2016年7月初~2017年7月21日



※信頼できると判断したデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

各国・地域別のREIT市場および為替の動き

▶7月21日時点(1週間前=7月14日、3か月前=4月21日、6か月前=1月21日、1年前=2016年7月21日、3年前=2014年7月21日)なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

| 国・地域 | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|----------|----------|--------|------|------|-------|------|
| | | 週間 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
| グローバル | 521.75 | 0.9 | ▲0.6 | 2.9 | ▲3.1 | 24.6 |
| 米国 | 1,217.86 | 0.8 | ▲0.9 | 2.1 | ▲4.3 | 24.3 |
| カナダ | 946.82 | ▲0.0 | ▲2.8 | 3.5 | ▲1.3 | 19.6 |
| 欧州(ユーロ圏) | 691.58 | ▲0.2 | 5.4 | 10.2 | 2.5 | 25.1 |
| 英国 | 85.67 | 1.7 | 0.5 | 11.1 | 8.4 | 19.1 |
| 日本 | 368.74 | 3.2 | ▲3.6 | ▲7.3 | ▲7.1 | 14.6 |
| 香港 | 702.19 | 1.3 | 11.8 | 20.8 | 12.6 | 62.2 |
| シンガポール | 578.57 | 1.8 | 7.3 | 14.2 | 12.0 | 24.1 |
| オーストラリア | 647.47 | 0.9 | ▲7.2 | 1.5 | ▲10.8 | 35.8 |

| 為替(対円) | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|------------|--------|--------|------|------|------|-------|
| | | 週間 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
| 米ドル | 111.14 | ▲1.2 | 1.9 | ▲3.0 | 5.0 | 9.6 |
| カナダ・ドル | 88.61 | ▲0.5 | 9.6 | 3.0 | 9.6 | ▲6.2 |
| ユーロ | 129.60 | 0.4 | 10.8 | 5.6 | 11.1 | ▲5.5 |
| 英ポンド | 144.46 | ▲2.0 | 3.4 | 1.9 | 3.2 | ▲16.6 |
| 香港ドル | 14.14 | ▲1.5 | 0.8 | ▲4.3 | 3.6 | 8.1 |
| シンガポール・ドル | 81.58 | ▲0.4 | 4.5 | 1.4 | 4.5 | ▲0.3 |
| オーストラリア・ドル | 87.98 | ▲0.1 | 7.2 | 1.6 | 10.9 | ▲7.4 |

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
 ※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

▶当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。
 各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日興アセットマネジメント
 facebook twitter で、
 経済、投資の最新情報をお届けしています。 1/1